

平成29年度

熊谷市商工業振興対策に関する

建 議 書

熊谷市商工業振興対策委員会

熊谷市長 富岡 清 様

昨年度、稼ぐ力、観光協会の民営化をテーマとした本審議会の答申を受け、市では平成28年3月、地方創生に向けた人口ビジョン・総合戦略を策定し、構想された一部の事業は既に実施段階に入った。加えて、観光協会の民営化（法人化）の議論が進められているところでもある。

進む少子高齢化もあり、国内需要は低迷し、中小企業がおかれた環境は、年々、その厳しさを増している。経済のグローバル化も加わり、大きな構造変化をきたしている。

しかし、10年前、20年前でも「厳しいこと」に変わりはない。先代の労苦と情熱を想い、築かれた郷土「熊谷」の歴史を踏まえて、今こそ、前へ進む勇気とチャレンジが必要と考える。

今回、当委員会は、商工業振興の根拠となる「中小企業等振興条例」の内容検討、交流人口の拡大を目指した観光協会のあり方をテーマに議論してきた。

建議の背景や趣旨をご賢察の上、積極的に市政に反映させ、官民を挙げて、活力ある産業づくりを進め、全国に誇れるまちとなるよう、切に希望するものである。

平成28年11月18日

熊谷市商工業振興対策委員会
委員長 藤間 憲一